

# 農業水利施設の維持管理技術講習会を実施

1月17日（木）に鳥取県土地改良会館において鳥取県農地・水・環境保全協議会主催の「農業水利施設の維持管理技術講習会」が開催されました。

講習会では、農地・水・環境保全向上対策を実施している活動組織から共同活動の中でコンクリート水路の目地からの漏水防止補修技術習得の要望が多かったことから開催され県東部の活動組織などから150名の参加がありました。

特に、水路の老朽化などに伴う水路目地からの漏水は、農地の湿田化の原因となり作付けに支障をきたしたり、水路の不等沈下に伴う通水機能の障害となります。これまでの目地にモルタル詰めする方法では時間が経つと剥離や、隙間が広がり再び漏水する欠点があり、効果的で長持ちする補修技術の確立が急がれていました。講習会では、補修技術を考案した県農業試験場の水田基盤研究室三原正司室長と宮本雅之研究員から「簡易な水路目地補修作業の手引き」をもとに講義と実技を指導。繊維モルタルとプライマー（接着剤）を使った補修方法を紹介し、実習としてコンクリート二次製品水路の目地にプライマーを塗った後、練ったモルタルを目地に詰める作業を体験しました。受講された方は、「手軽に補修できることが分かり、早速に実践したい」と話していました。



三原室長の講義



グラインダーによる古い目地の除去



繊維モルタル（左：中身）と  
プライマー（中央：容器）



プライマーの塗布



繊維モルタルとプライマーの混練



モルタル充填